

3-7

事故分析で業務に活かしたこと

事故分析から原因を解明し安全で安心した介護の実践に活かす

事故原因の解明

安全な介護の提供

特別養護老人ホーム 青陽園

相談科長 坂上春美

東京都八王子市川口町1543番地

TEL：042-654-4025

E-mail：main@seiyoen.com

FAX：042-654-4086

URL：http://www.seiyoen.com

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 10p

東京都で8番目、八王子市最初に出来、今年で40周年を迎えた、「拘束」「褥そう」「寝たきり」0を介護の3本柱に高品質なサービスの提供に取り組み、報・連・相を合言葉に職員の意識統一のため工夫を重ねている特養ホームです。

＜取り組んだ課題＞

- 現園長の就任時に全ての拘束を取り除く事を言明され拘束廃止の取り組みの開始
- リスクマネージャ委員の任命と委員会の発足
- 事故分析から事故原因の解明と対策の検討
- 対策の周知徹底と危険予知への意識改革

＜具体的な取り組み＞

- 事故報告の徹底と職員間の共有
- リスクマネージャの事故原因の追跡調査から事故原因の究明と対策の検討
- 事故分析を解明し、事故発生の多い時間帯・場所の特定と対応策の検討
 - ・ 食事15分前の若返り体操の実施
 - ・ 休日・夜勤岱帯の責任者の配置
 - ・ 居室担当制にし、3グループ分けをした
 - ・ 食堂での見守り職員の配置をした
 - ・ 17時20分に音楽を流し体操を実施
 - ・ 頻回のラウンドの実施
- 教育研修での発表による周知徹底
- 危険予知についての研修と委員会での討議

＜活動の成果と評価＞

- 拘束がいかに人としての尊厳を侵していたかが認識出来た
- 事故報告から事故の原因・対策等各職員への意識付けとなり、職員間で共有出来た
- 事故の防止に取り組む中で次第に事故を起さないための積極的な取り組みを考えるようになった
 - ・ 若返り運動による現役で頑張れる身体と心造り
 - ・ 尖足予防による筋力の強化と維持
 - ・ 体位の位置の安定と変換
- 事故の追跡調査から回避出来た事故を認識し再発防止に繋がった
- 対策の検討から業務の見直しがされ、職員個々の責任が明確になった
- 小さな事故に隠されている問題点に気付くことが出来、利用者個々への対策に取り組んだ
- 職員の経験に固執し心にロックされ、前向きな取り組みを阻害してたことに気付かされた
- 拘束することが事故の予防に繋がっていなかったことに気付いた
- 事故対策が明確になった事で業務の改善に繋がった

＜今後の課題＞

- 利用者個々への事故予知から対策を検討し事故を防止する
- 事故を回避出来る職員の資質・スキルの向上を図る



安全で安心した高品質なサービスの実践